

(様式1)

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況  
点検・評価分析シート (一次)

事業番号	1		評 価 者	担当課等	社会教育課		
事業名称	生涯学習の普及・推進						
項目名称	①生涯学習情報の提供						
① 実施根拠法令	社会教育法第5条(市町村教育委員会の事務)						
① 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他( )						
① 事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他( )						
① 対象(～に対して)	市民						
① 目的(目指すべき姿)	誰もが、いつでも、どこでも学ぶことができる「生涯学習社会」の実現を目指す中で、教育委員会をはじめ、学校や地域、そして市長部局が連携・協力して様々な学習に関する情報を提供することで、市民の皆さまに色々な活動を知っていただくとともに、生涯学習についての理解を広く市民に浸透させることを目的としている。						
① 事業内容	生涯学習情報誌「こしゃーる」の発行						
② 事業実績	区分	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
事業実績	事業の実績	1 発行回数	回	3	3	3	12
		2					
	事業効果	1 発行部数	部	11,300	11,600	11,100	10,850
2 問合せ件数		件	0	4	2	5	
3							
③ 事業費	区分	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
事業費	決算額	千円	588	274	245	0	
	年度の歳出(節別内訳)	千円	印刷製本費 588	印刷製本費 274	印刷製本費 245	印刷製本費 0	
④ 事務事業評価	<p>担当課による一次評価(内部評価)</p> <p>[必要性] 「いつでも・どこでも・だれでも」が学びたいことを学ぶことができる環境づくりに加え、学んだ成果が適切に評価されることが求められる今日、講座の開催案内や地域で生涯学習を実践している社会教育団体などを紹介することにより、市民の自主的な学びを支援するとともに、学んだ成果が適切に評価され地域に還元されるよう努めている。</p> <p>[有効性] 今年度から新たに、社会教育団体の活動を紹介し、市民の学習意欲の向上や団体の活動が適切に評価されるよう図っているが、市民からの問合せ件数がほとんどないため、魅力ある誌面づくりに努めていく必要がある。</p> <p>[効率性] 市広報に掲載することにより、情報提供の回数が3回から12回に増加し、また、印刷製本費の予算が削減されるなど、事業の効率化が図られた。</p> <p>[公平性] 平成21年度は、「市民に学校を公開する日」や「教育委員会定例会」、あるいは社会教育団体の紹介など多様な学習情報の提供に努めたが、民間団体が行う学習情報の提供や学校教育に関する照会が十分に行われなかったことから、今後、関係機関との連携を深めることが求められている。</p>						

(様式1)

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況  
点検・評価分析シート (一次)

事業番号	1		評 価 者	担 当 課 等	社 会 教 育 課		
事業名称	生涯学習の普及・推進						
項目名称	②各種講座等の開催						
① 事 務 事 業 概 要	実施根拠法令	社会教育法第5条 (市町村教育委員会の事務)					
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 (    )					
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他 (    )					
	対象 (～に対して)	市民					
	目的 (目指すべき姿)	社会の変化に対応し、あらゆる世代の市民が「いつでも・どこでも・だれでも」が学習できる環境の整備と、生涯学習に市民一人ひとりが意欲と生きがいを持ち、主体的に参加できる学習機会の拡充を図る。併せて、教育委員会と学校、地域及び家庭が連携して、社会の変化に主体的に対応できる逞しく創造性豊かな人材を育む。					
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>成人教育 (現代的課題に対応する講座など全5回)</li> <li>学校開放講座 (講演会、演奏会、スポーツ教室等全15回)</li> </ul>						
② 事 業 実 績 ・ 効 果	区 分		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	事業の実績	1 成人教育講座数	回	7	7	9	5
		2 学校開放講座開催数	回	11	8	12	15
	事業効果	1 成人教育参加者数	人 (延べ)	345	244	106	385
		2 学校開放講座開催数参加者数	人 (延べ)	495	768	1,291	1,022
③ 事 業 費	区 分		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
	決 算 額		千円	538	472	682	426
	年度の歳出 (節別内訳)		千円	・報償費 445	・報償費 409	・報償費 639	・報償費 368
				・旅費 57	・需用費 43	・需用費 16	・需用費 38
・需用費 36	・役務費 20	・役務費 27	・役務費 20				
④ 事 務 事 業 評 価	担 当 課 に よ る 一 次 評 価 ( 内 部 評 価)	[必要性]	生涯学習社会の実現が求められる今日、生活に潤いを与える趣味的な講座の開催に加え、変化の激しい社会に対応する現代的課題を学ぶ機会を提供する必要があることから、「振り込め詐欺」や「裁判員制度」をテーマにした講座を開催した。また、改正教育基本法第13条に「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」が規定されたことから、地域住民が学校に足を運ぶきっかけづくりとなるような学習機会を提供した。				
		[有効性]	今年度の事業は、市老人クラブ連合会や公民館の女性教室と協力して開催することにより、昨年度よりも多くの方々に参加いただいたが、他事業と合同で開催することにより学習効果が薄れる可能性もあることから、担当課独自で魅力ある講座展開を図る必要がある。				
		[効率性]	多様化・複雑化する市民の学習ニーズを十分に把握出来ず、また、適切な時期に講座を実施することが出来なかったことから、今後は近隣大学と連携し講座の充実を図るとともに、市広報だけでなく、カシオペアFMやホームページを活用した周知の徹底に努める。				
		[公平性]	今年度は、生活に役立つ講座を実施し、市民が社会の変化に対応出来るよう図ったが、高度な学習内容について学ぶ機会の提供が十分でなかったことから、近隣大学との連携や放送大学二戸校の活用を通して、出来る限り多くの学習ニーズに応えるよう努める。				

(様式1)

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況  
点検・評価分析シート (一次)

事業番号	1		評 価 者	担当課等	社会教育課			
事業名称	生涯学習の普及・推進							
項目名称	③教育行政に関する点検・評価							
① 事 務 事 業 概 要	実施根拠法令	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 (    )						
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他 (    )						
	対象(～に対して)	議会及び市民						
	目的(目指すべき姿)	1 教育委員会が事前に基本方針を立て(教育基本法第17条に基づく「二戸市教育振興基本計画」等)、それに対する事後チェックを行うことにより、効果的な教育行政の推進を図る。 2 点検・評価の結果に関する報告書を議会に提出し、公表することにより、議会において教育委員会の点検・評価に対するチェックが行われるとともに、市民への説明責任を果たす。						
事業内容	教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、内部評価を行った後、教育に関し学識経験を有する者の知見を活用した外部評価を行い、その結果を議会に報告するとともに市民へ公表する。							
② 事 業 実 績 ・ 効 果	区 分		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	事業の実績	1	検証委員会議	回			2	2
		2						
	事業効果	1	内部評価報告書	式			1	1
		2	外部評価報告書	式			1	1
3								
③ 事 業 費	区 分		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	決 算 額		千円	0	0	46	46	
	年度の歳出(節別内訳)		千円			・報償費 40 ・旅費 6	・報償費 40 ・旅費 6	
④ 事 務 事 業 評 価	担 当 課 に よ る 一 次 評 価 ( 内 部 評 価 )	[必要性]	点検・評価は、首長から独立した合議制の教育委員会が、自らが立てた基本方針に沿って具体的な教育行政が執行されているかについて、事後にチェックする必要性を求められたものであり、議会並びに市民の皆様に説明責任を果たし、その活動の充実に資するために行われるものである。					
		[有効性]	点検・評価は、今年度で3回目の実施となるが、外部委員による意見・提言をどのように事業に活かしていくのかが毎回課題となっている。また、報告を受ける議会以外にも、市民に報告内容を公表し、出来るだけ意見・提言を吸い上げる仕組みづくりを構築していくことが重要である。					
		[効率性]	点検・評価は、二戸市教育振興基本計画を基本としながら、二戸市独自の方法で実施しているが、他市との具体的な比較を行ったことがない。ただ、外部委員から、効率的な点検・評価の実施が求められていることから、(第二次)二戸市教育振興基本計画策定時においては、数値目標等も考慮した点検項目の取扱が求められる。					
		[公平性]	点検・評価は、実施年度を重ねるごとに対象となる事業(項目数)が増えている。そのため、前年度と具体的な比較が出来ない事業もあるが、事業費の多い少ないに拘わらず、出来るだけ点検・評価を実施し、市民への公表に努めていく必要がある。					

(様式1)

二戸市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行状況  
点検・評価分析シート (一次)

事業番号	1		評価者	担当課等	社会教育課			
事業名称	生涯学習の普及・推進							
項目名称	④放送大学再視聴施設の活用							
① 事務事業概要	実施根拠法令	社会教育法第5条						
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託 <input type="checkbox"/> 補助金交付 <input type="checkbox"/> その他 (    )						
	事業費内訳	<input type="checkbox"/> 国庫補助 <input type="checkbox"/> 県単 <input checked="" type="checkbox"/> 一般財源 <input type="checkbox"/> その他 (    )						
	対象(～に対して)	市民、放送大学生						
	目的(目指すべき姿)	放送大学は、日本唯一の高等遠隔教育機関であり、全国で多くの方々が学んでいる大学である。平成21年度には、関係機関の協力の下、二戸市立図書館3階に「放送大学岩手学習センター二戸」が開校し、今後、市民が高度な学習内容を学ぶことができる場、あるいは「学び直し」の場として活用されることが期待されている。						
	事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・放送大学岩手学習センター二戸校の開校</li> <li>・放送教材(講座)の充実</li> </ul>						
② 事業実績・効果	区 分		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	
	事業の実績	1	配架科目	講座				77
		2						
	事業効果	1	利用者数	人				53
		2						
	③ 事業費	区 分		単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
決 算 額		千円				1,498		
年度の歳出(節別内訳)		千円				<ul style="list-style-type: none"> <li>・庁用器具費 1,170</li> <li>・機械器具費 224</li> <li>・図書購入費 104</li> </ul>		
④ 事務事業評価	担当課による一次評価(内部評価)	[必要性]	<p>市民の生活様式や価値観が多様化するとともに、学習ニーズが高度化・複雑化している今日、学びたい時に学びたい事を学ぶことができる環境づくりが求められており、自由に多様な講座(77講座)を学ぶことができる二戸校の開校は、市民の生涯学習を支援するものである。</p>					
		[有効性]	<p>放送教材(CD、DVD、VHS及びテキスト)を準備することで、高度化する学習ニーズに応えるとともに、かつて学んだことを何度でも繰り返し学ぶことができる「学び直し」の機会の提供が図られることから、生涯学習社会の構築に役立っている。</p>					
		[効率性]	<p>放送大学二戸校の開校により、自分のライフスタイルや価値観に合わせて学ぶことが出来るようになり、効率的な学習環境の整備が図られた。</p>					
		[公平性]	<p>再視聴施設としては県内唯一、市民も気軽に利用できる学習環境となっていることから、公平性が保たれている。</p>					

## 2 外部評価(二次評価／検証委員の意見・提言等)

### II 二戸市教育振基本計画に基づく平成21年度分野別主要事業の取組実績

#### 1- 生涯学習の普及・推進

- ①生涯学習情報の提供
- ②各種講座等の開催
- ③教育行政に関する点検・評価
- ④放送大学再視聴施設の活用

#### 【委員の意見・提言】

##### ■ 1-①生涯学習情報の提供

- ◆ 社会教育団体の活動紹介は非常に有効、いいと思う。以下の点を希望する。
  - ・誌面2ページで活動に対する市民の声が入ればもっと反応があるのでは。
  - ・行事のお知らせ等もっと早い時期に掲載し、できれば放送等の活用も欲しい。
- ◆ 市広報に掲載するという方法は、回数の面からも多くの人に知らせるという面からも、また予算の面からも、良い方法である。
- ◆ 「こしゃーる」の事業効果(=有効性)を測定し評価するための手がかりを、問合せ件数に求めていることは正しいことなのかもしれないが、ほとんど無いからといって悲観的になることはないと思います。読者の反応が形となって現われることはなかなか難しいことだと思います。
- ◆ 回数は12回になったが、1回当たりのスペースが0.5ページなので、スペースの友好活用を一層考えて欲しい。
- ◆ 編集方針を定めて情報提供に努めているようだが、その意図が読者に伝わるよう磨きをかけてほしい。
- ◆ 生涯学習の「目的」はキーワードも含み非常に分かりやすいものになっているが、それに即した「こしゃーる」の編集であるかどうかは疑問が残る。発行回数は多くなったが、広報の一部になっており、「こしゃーる」の編集理念が薄れているように感じる。発行回数を増やすこともいいが、編集方針や内容がどうも明確に感じられない。真に市民のものになっているのかも疑問である。予算の削減で「効率化が図られた」については広報の予算に転化されているのではないか。当初の「こしゃーる」は手づくりで、むしろ市民的ではなかったかを感じるものである。

##### ■ 1-②各種講座等の開催

- ◆ 近年、公益法人改革の影響により、無料の講演会が増えた気がする。その為、参加者は選択枝が多くなり、足が遠のくではないか。このような現況から、もっと公平性には疑問は残るものの、対象を絞った講座が必要と思う。
- ◆ 文章講座があってもよいと思う。例えば挨拶状や公の文章、楽しみのためのエッセーの書き方等。
- ◆ 高齢者は精一杯意欲的に参加し、大変有効であり、感謝している。父親や母親等、夫婦の学びの誘いかけを工夫して実施してはどうか。

- ◆ 内部評価はいずれの視点についても詳細に深く行われており、全くその通りだと思います。
- ◆ 成人教育の柱に「変化の激しい社会に対応する現代的課題」を据えていることは素晴らしいことだと思う。ただし、現代的課題の何を講座のテーマにするのが難しいことだと思う。これからの日本の行く末を考えた場合、道州制の問題や民主党のマニフェストに掲げられている改革など、不安、不明をはらんだ課題がたくさんあると思う。政権は、マスコミや共同通信社の世論調査でグラつくことから、マスコミに流されない考えや意識を固める手がかかりとなる情報のやり取りが出来るような講座や学習機会が欲しい。
- ◆ 講座のテーマ設定には大きな困難があると感じます。しかし、人数確保のための各団体との連携より、今何が求められているかを把握することの方が求められるのではないかと。確かにニーズを的確に、捉えるために各団体との連携も必要であろう。やはり不足しているのは市民に対する広報をどのようにすべきかを検討してほしい。また、開催した際の来場者に意見欄を作成しながら何を求めているかを的確に捉えることを願いたいものである。以前には多くの参加者があったことを記憶している。

## ■ 1-③教育行政に関する点検・評価

- ◆ 二戸市の場合、点検評価は二戸市教育振興基本計画に基づき、予算措置がなされたものを対象に実施しているが、年々評価項目が増えているため、職員の負担になっていないか心配される。
- ◆ 外部評価で指摘した事項（意見項目・提言項目）を少ない予算の中でどのように改善していくのか。今後、職員の手腕が問われてくる。
- ◆ 教育行政における評価については、特に内部評価は困難ではないかと考える。また、相当数の項目・内容もあり数値化することは非常に難しい。そのために情報収集を行うことも大切なことではないか。その中から、二戸市方式を検討することも一つの方法であるとも考えられる。
- ◆ 平成22年度には新しい二戸市教育振興基本計画が策定されると聞いているが、点検評価の合理化を図るためにも、目標の数値化が課題となると思われる。
- ◆ 外部委員は、職員が作成した一次評価の全てに目を通すことになるが、その負担は大変なものであり、敬意を表したい。
- ◆ （第二次の）二戸市教育振興基本計画策定においては、これまでの点検評価の外部意見・提言をどのように取り入れて行くかが課題となる。
- ◆ 二戸市教育行政に関する点検及び評価等検証委員会設置要綱の見直しが必要と思われるので検討を要する。
- ◆ 今年度の点検評価は、昨年度の事業区分から項目区分となったため、検証委員の負担が増大した。教育振興基本計画の策定にも通じるものであり、是非とも事務局内部で検証方法について検討してほしい。

#### ■ 1-④放送大学再視聴施設の活用

- ◆ 昨年、知人が施設を利用しているとのことを初めて知ったが、市民にまだまだ浸透不足と思う。
- ◆ 学習したい、いい企画と思いながら、自分は参加しないで過ぎている。講座の内容、参加の仕方等を1度だけでなく、市民に伝えてほしい。こしゃーるに3行だけでは、1歩を踏み出せない人もあると思う。
- ◆ 開設講座の内容を知ってもらう工夫をしてみてもどうか。
- ◆ 個人学習のためには、有効な環境整備であったと評価できる。利用拡大のためのキャンペーンやイベントなどの企画があったら良いと思う。
- ◆ 放送大学は全国で有効に活用されていることが確認されている。当市において放送大学の開講は大変評価に値するものである。それだけに多くの市民に活用されたいものである。市立図書館には「放送大学学習センター二戸校」の標示もあり、これからの生涯学習を推進していくために大きく寄与するものである。やはり市民に対する周知の仕方に不足はないか、周知の仕方についても検討する必要がある。「広報」に学習者の感想を掲載するとか、市民に分かりやすい方法でのやり方もあるのではないか。利用状況を明確にしなが、取り組みの方法を検討すべきである。